

# 和田宿温泉 ふれあいの湯

Wadajuku Onsen Fureainoyu  
(長野県小県郡長和町)



外観

今回紹介するのは和田宿温泉ふれあいの湯。美ヶ原観光のメとして訪れたい温泉だ。この地は中央道と上信越道のちょうど中間地点にあるため、どちらからでもアクセス可能だ。それもそのはず、和田宿はかつて69あった中山道の宿場町のうちの一つであり、板橋から28番目の宿場町に当たる場所だからだ。

和田宿温泉ふれあいの湯は、グラウンド、体育館、テニスコート、パターゴルフ場、ちびっこ広場などを備えた広大な運動公園「湯遊パーク」の一角にある。周辺はのどかな田園地帯が広がっている。

温泉の建物は木をふんだんに使った豪華なものだ。木を使うために建てたと言っても過言でないほどで、内装は無垢の木のままである。特にドームの構造体は見応えがある。

フロント横のお土産コーナーでのおすすめ商品は、リンゴのドライフルーツと、あっさり味のドリンクヨーグルトだ。いずれも地場の商品である。

脱衣室に入る。脱衣室には籠が置かれていて、ロッカーはない。貴重品はフロント奥にある貴重品ロッカーを利用しよう。

浴室も上部の壁や天井に木材が使われている。洗い場は内湯に7か所、露天風呂に3か所、合計10か所ある。リンスインシャンプーとボディーソープは完備されている。

内湯の浴槽は2つ。大風呂はぬるめ～適温、小風呂は人肌（もしくはそれ未満）の温度になっている。サウナ、水風呂はない。

露天風呂は気分爽快である。美ヶ原の山並み、田園風景を望むことができ、小屋組みの下では雨や雪をしのぐこともできる。浴槽の底には平らな石が丁寧に敷き詰められている

ので、お尻が痛くなることはない。湯温はぬるめ～適温だ。

ちなみに、和田宿温泉ふれあいの湯はカルシウム・ナトリウム硫酸塩温泉で、神経痛、筋肉痛、五十肩、冷え症、慢性消化器病、動脈硬化症、切り傷、火傷、慢性皮膚病などに効くという。

入浴後は休憩室へ。ここはお年寄りの憩いの場になっている。彼らは食料を持ち込み、一日中ここでだべっているのである。取材したのは日曜日の昼過ぎであったが、休憩室が混雑して困るということにはなかった。実にのどかである。

和田宿。今はかつての宿場町の賑わいはないのかもしれない。しかし、こここのんびりと流れる時間は、休日の午後を過ごすにはもってこいだ。

- **名称**：和田宿温泉 ふれあいの湯
- **所在地**：長野県小県郡長和町和田 4329
- **電話**：0268-88-0001
- **営業時間**：10：00～22：00
- **定休日**：第 1, 3, 5、月曜日
- **入浴料**：大人 500 円 小中学生 300 円 未就学児無料
- **サウナ**：なし
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2014 年 9 月 21 日（日）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部